

献血の種類



献血の採血方法には、すべての血液の成分を採血する全血献血と、必要な血液の成分だけを採血する成分献血があります。

全血献血は、1回の献血での採血量で、400ml献血と200ml献血に分けることができます。

また、成分献血は採血する成分の種類で、血漿成分献血と血小板成分献血に分けることができる。それぞれの献血からつくられる血液製剤は異なり、その種類は図の通りです。

自己定が望ましいとされています。
しかし、血漿分画製剤の一つであるアルブミン製剤は自己給率が約61%(平成20年度)であるなど、海外に依存している製剤もあるため、みなさんの協力を必要とします。

献血は誰でもできるの？

献血者の健康面の安全を確保するため、また、輸血を受け方の安全を守るために、献血を行つていただけるかの問診を行います。採血基準の主なものは、左図の通りです。また、輸血を受ける方の安全を守るため、H-IV（エイズの

原因となるウイルス）感染が疑われる方、輸血や臓器移植を受けた方、一定の期間に英国资等について問診で確認し、献血をご遠慮いただけます。

		200ml 献血	400ml 献血	成分献血
年齢		16歳から	18歳から	18歳から
体重	男	45kg以上	50kg以上	45kg以上
	女	40kg以上		40kg以上



採血にはどのくらい時間がかかるの？

採血にかかる時間は、200ml献血・400ml献血で15分程度、成分献血は採血量に応じて40～90分程度です。

全血献血で
15分程度
だっち。



献血はどうやってやるの？

献血の受け入れを行っているのは、日本赤十字社です。日本赤十字社では、たくさん的人に献血をしていただけるよう様々な場所で献血の受け入れを行っています。



献血バス

献血ルームや血液センターが近在しない地域に出張します。



献血ルーム

都市部を中心に交通の便のよいところにあり、献血者がリラックスできる設備が備わっています。また、リラクゼーションや占いといったサービスを提供している献血ルームもあります。



その他

会社や団体で献血する場合、屋内のスペースを臨時の献血会場にします。



血液センター

献血の受け入れから採血された血液の品質検査、血液製剤の製造・保管・供給を行っています。